

監査規則

(目的)

第1条 この規則は、定款第18条の規定に基づき、正会員に対する監査に関して必要な事項を定める。

(監査員)

第2条 監査は、本協会の職員のうちから会長が任命した監査員が、これに当たる。

(監査計画)

第3条 本協会は、その年度の監査に当たり、監査計画を作成し、これを正会員に通知して実施する。ただし、必要があると認めるときは、監査計画に定める事項以外の事項についても、随時これを行う。

(監査の種類)

第4条 本協会の監査は、次の各号に定めるところにより行う。

(1) 一般監査

法令、法令に基づく行政官庁の処分若しくは定款その他の規則又は取引の信義則の遵守の状況並びに営業及び財産の状況について全般的に点検を行う。

(2) 特別監査

法令、法令に基づく行政官庁の処分若しくは定款その他の規則又は取引の信義則の遵守の状況並びに営業及び財産の状況のうち、特定の項目について、必要に応じて点検を行う。

(3) フォローアップ監査

本協会の監査及び各行政機関の検査等において認められた指摘事項について改善報告を求めた正会員に対して、当該指摘事項の改善状況について、必要に応じて点検を行う。

(4) 機動的・継続的監査

本協会に加入して6か月に満たない正会員のうち、公益又は投資者保護の観点から特に必要と認められた正会員に対して、その業務が適正に行われているかどうかについて、点検を行う。

(監査の実施方法)

第5条 監査は、正会員の本店、支店又は営業所等において行う実地監査及び正会員から本協会に提出する書類に基づき行う書類監査とする。

(監査員の権限)

第6条 監査員は、正会員に対し、監査事項に関係のある帳簿、書類及び有価物の提示、閲覧若しくは資料の提出又は事実の説明を要求することができる。

(監査員の義務)

第7条 監査員は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 監査に当たっては、常に穏健、冷静な態度を持し、品位と信用を保持するよう努めること。

(2) 監査は、すべて事実に基づいて公正かつ能率的に行うよう努めること。

(3) 有価物その他重要物件の現物監査に当たっては、保管の責任者を立ち合せて、特に適確迅速に行うとともに紛失等の事故がないよう留意すること。

(4) 事実の認定、処理の判断及び意見の表明を行うに当たっては、常に公正であるよう努めること。

(5) 職務上知り得た事項を、正当な事由なく他に漏らさないこと。

(監査員証の提示)

第8条 監査員は、監査の着手に当たっては、当該正会員に対して、別に定める様式による監査員証を提示する。

(監査結果の報告)

第9条 監査員は、第4条に定める監査の結果を会長に書面により報告しなければならない。

2 会長は、前項の監査の結果に、定款第19条第1項各号に該当する事由又は定款第20条に規定する状況若しくはそのおそれがあると認めるときは、処分等に関する規則の定めるところにより、当該監査の結果を付して規律委員会に報告することができる。

(監査結果の通知)

第10条 本協会は、原則として監査結果を当該正会員に書面により通知する。

附 則

この規則は、令和2年5月1日から施行する。

【監査員証の様式】

(表面)

		No. _____
監 査 員 証		
(写 真)	監 査 員	○ ○ ○ ○
	上記の者は、本協会の監査員であることを証明する。	
	年 月 日	
印 又は 刻印	一般社団法人 日本STO協会 会 長	印

(B 8)

(裏面)

監査規則 (抄)
<p>(監査員の義務)</p> <p>第7条 監査員は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 監査に当たっては、常に穏健、冷静な態度を持し、品位と信用を保持するよう努めること。(2) 監査は、すべて事実に基づいて公正かつ能率的に行うよう努めること。(3) 有価物その他重要物件の現物監査に当たっては、保管の責任者を立ち合せて、特に適確迅速に行うとともに紛失等の事故がないよう留意すること。(4) 事実の認定、処理の判断及び意見の表明を行うに当たっては、常に公正であるよう努めること。(5) 職務上知り得た事項を、正当な事由なく他に漏らさないこと。 <p>(監査員証の提示)</p> <p>第8条 監査員は、監査の着手に当たっては、当該正会員に対して、別に定める様式による監査員証を提示する。</p>